

卒業論文・修士論文・博士論文題目一覧

〈卒業論文〉

金子 裕紀 近世信濃における煙草生産とその流通―信州清内路

村を中心に―

安東 裕貴 明治初期の東京における警察制度―番人から巡査

へ―

鎌田 修 日清戦争におけるコレラ流行―軍医による視点と戦

後への影響―

池田 真歩 明治二〇〜三〇年代の東京市における区会と市会

市川 祐嗣 儒教思想の受容にみる古代日本文化の特質

江川加成子 岩倉具視と能楽―岩倉具視と明治前期の能楽復興の

関わり―

大野 智史 東京市における方面委員制度

金子 彩乃 春日社における信仰の諸相について―神の図像の変

化と信仰の展開―

木下 竜馬 関東祈禱所の研究―在地寺社の視点からの再考―

草刈 直紀 戦国期都市の様相と楽市楽座

黒須 智之 足利直義裁許状の事書について

小林 毅弘 「三井のドル買い」についての考察

佐々木政文 一九三〇年代における思想犯保護事業―帝国更新会

思想部の事例を中心に―

下野 友也 林遠里の稲作理論の生成過程―帰農から第二回内国

勸業博覧会までを中心に―

寺本祐太郎 町村制の町村財政と協議費―埼玉県の事例を中心

に―

富永 英希 初期神奈川県と三部経済制

戸谷 太一 一休宗純の思想的展開―大応派との関係を巡って―

畑山 周平 戦国後期の島津氏権力―当主と重臣との関係を中心

に―

東 希望 近世後期多摩川下流域における川普請と周辺農村

三ヶ島ちひろ 府官公廨について

山下賢太郎 近世江戸の「道」と支配システム

横山 綾乃 戦国期大内氏と中央政權

吉田 周平 梅北国兼の反乱に関する一考察―豊臣政權への挑

戦―

〈修士論文〉

浅尾 拓哉 九州探題と初期室町幕府権力

柿沼 亮介 日本古代の外交と対外交渉―八世紀日羅関係と古代

国家―

国分 航士 明治立憲制の展開と大正政治史

西本 哲也 地方官人からみた古代官僚制―律令郡司制度の検討

から―

朴 完 第一次世界大戦後の田中義一の陸軍軍政―軍民関係を
中心として―

林 友里江 平安時代の政務と実務官人

山田 俊幸 尾張藩諸廻船と熱田湊

渡邊 宏明 大正末期の政党政治―普通選挙法制定前後における

「党组织」の変容過程―

〈博士論文〉（授与年月日が二〇一〇年四月以降二〇一一年三月までの

もの、審査委員名を付記した）

甲（課程博士）

小倉真紀子 日本古代における田制と財政の研究

佐藤信（主査）・多田一臣・早乙女雅博・山口英
男・加藤友康

小林 延人 明治維新期の貨幣経済

鈴木淳（主査）・野島（加藤）陽子・吉田伸之・
井川克彦・神山恒雄

乙（論文博士）

西田 友広 中世の検断と国制

村井章介（主査）・小島毅・桜井英治・近藤成一
・五味文彦